



発行所 秋田魁新報社  
〒010-8601  
秋田市山王臨海町1番1号  
©秋田魁新報社 2018年

# 号外

購読申し込み

0120-13-1231

電子版  
www.sakigake.jp

モバイル  
m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、「秋田魁新報」電子版「さきがけMOBILE」をご覧ください。

# トランプ氏拉致提起 米朝会談

〔シンガポール共同〕

トランプ米大統領と北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長は12日、シンガポール

ル南部セントーサ島のカペラホテルで会談した。

米朝首脳会談は史上初。両首脳は会談後「シンガ

ポール共同声明」に署名、

記者会見でトランプ氏は、日本人拉致問題を提起したと明らかにした。複数のメディアによると、正恩氏は共同声明で、4月末の南北首脳会談での板門店宣言を再確認し「朝鮮半島の完全非核化」を約束、トランプ氏は北朝鮮の安全を保証すると確約した。

トランプ氏は北朝鮮の非核化プロセスを迅速に始めると強調し、正恩氏をワシントンのホワイトハウスに招待する意向を示した。両首脳は会談で、米朝関係改善に意欲を示した。朝鮮半島に残る冷戦構造の終焉につながる可能性があり、北東アジアの国際環境は重大な転換点を迎えた。

トランプ氏は「過去とは異なる米朝関係に向かう」と述べ、正恩氏と「特別な絆を築いた」ともアピールした。トランプ氏は12日午後4時(日本時間同5時)の記者会見で共同声明を説明。

共同声明で、両首脳は朝鮮戦争で捕虜となった米兵の帰還や戦没米兵の遺骨収集で協力することを確認。合意事項の履行に向け、できる限り早期に高官級協議を開く。一方、米政府が求める「完全かつ検証可能で不可逆的な非核化」の文言や、日本人拉致などの人権問題は明記されなかった。



共同声明に署名する北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長(左)とトランプ米大統領＝12日、シンガポール(ロイター＝共同)

# 完全非核化 約束